



USER MANUAL

QR Zero ユーザーマニュアル

全機能ガイドー作成・読み取り・カスタマイズの詳細

オフライン完結のQRコード作成・読み取りデスクトップアプリ

目次

はじめに

- › QR Zeroの概要
- › 画面構成の全体像

Part 1 | QRコードを作成する

- › 作成機能の全体像
- › URL / Wi-Fi / 連絡先 / 自由入力
- › サイズ・余白の調整
- › 点の形状・色とグラデーション
- › 四隅（コーナー）のカスタマイズ
- › 背景の設定
- › ロゴ・画像の埋め込み
- › リアルタイムプレビュー
- › PNG形式で保存

Part 2 | QRコードを読み取る

- › 読み取り機能の全体像
- › 画像ファイルから読み取る
- › ドラッグ&ドロップで読み取る
- › Webカメラで読み取る
- › 読み取り結果の見方
- › ブラウザで開く・コピー
- › CSV形式で出力
- › 結果のクリア

Part 3 | 共通機能・その他

- › トースト通知
- › キーボード操作について
- › セキュリティとプライバシー
- › 動作環境
- › よくある質問（FAQ）

QR Zero の概要

QR Zero は、PC上で完結するQRコードの作成・読み取りデスクトップアプリです。入力したデータは一切外部へ送信されず、インターネット接続なしで全ての機能を利用できます。

QRコード作成



URL・Wi-Fi・連絡先・自由入力の4種類。見た目も細部までカスタマイズ可能。

QRコード読み取り



画像ファイル（複数・D&D）とWebカメラの2方式に対応。

オフライン・プライバシー重視



データはローカル完結。外部送信なし、アカウント登録も不要。



本書ではこの画面をもとに全機能を解説します

画面構成の全体像



① サイドバー

「QR作成」「QR読み込み」の2画面をここで切り替えます。幅148pxの固定サイドバーです。

② データ入力タブ

QR作成画面の上部。URL / Wi-Fi / 連絡先 / 自由入力の4タブでデータ種別を切り替えます。

③ プレビュー

入力・設定の変更に応じてQRコードがリアルタイムに再描画されるプレビュー領域です。

④ オプションパネル

サイズ・余白・点の形状・四隅・背景など、見た目に関する全設定をここでを行います。



PART 1

QRコードを作成する

4種類のデータ形式と、豊富な見た目のカスタマイズ機能を解説します。

作成機能でできること

QRコード作成は「①データを入力」→「②見た目を調整（任意）」→「③PNG保存」の3ステップです。

① 対応する4つのデータ形式



URL
Webサイトへのリンク



Wi-Fi
SSID・パスワード・暗号化方式



連絡先
SMS・メール・電話



自由入力
任意の複合行テキスト

② 調整できる8つの見た目の項目

- ✓ サイズ（64～1024px）
- ✓ 余白（0～64px）
- ✓ 点の形状・色
- ✓ 四隅の四角の形状・色
- ✓ 四隅の点の形状・色
- ✓ 背景の色
- ✓ グラデーション（線形/放射状）
- ✓ ロゴ・画像の埋め込み

URLのQRコードを作る

URLタブに入力欄が1つだけ表示されます。入力したURLがそのままQRコードのデータになり、変更するたびにプレビューがリアルタイムに更新されます。初期値として <https://google.co.jp> が入力されています。

ユースケース



名刺・チラシ・ポスターなど、印刷物からWebサイトへ誘導したいときに。

こんな方に便利



長いURLを毎回手入力するのが面倒な方、QRコードで手軽にリンクを共有したい方。



URLタブの入力画面

Wi-FiのQRコードを作る

SSID・パスワード・セキュリティ方式（パスワードなし / WEP / WPA・WPA2・WPA3）を入力すると、スキャンするだけでWi-Fiに接続できるQRコードを生成します。パスワードは既定でマスク表示され、目のアイコンで表示・非表示を切り替えられます。SSIDとパスワード内の特殊文字（\;,:”）は自動的にエスケープされます。



ユースケース

オフィスの会議室・店舗・民泊やゲストルームなどでのWi-Fi共有に。



こんな方に便利

来客や新しいメンバーにSSID・パスワードを毎回口頭や手書きで伝えるのが面倒な方。

Wi-Fiタブの入力画面

連絡先のQRコードを作る

種別（電話番号 / メールアドレス / SMS）をドロップダウンで選び、値を入力します。種別に応じて tel: / mailto: / sms: 形式のリンクとして組み立てられ、スキャンした側でそのまま発信・メール作成・SMS作成を始められます。



ユースケース

名刺、問い合わせ先の掲示、受付窓口の案内表示などに。



こんな方に便利

電話番号やメールアドレスの入力ミスをなくし、問い合わせ導線を簡単にしたい方。



連絡先タブの入力画面（メールアドレス選択時）

自由入力のQRコードを作る

複数行対応のテキストエリアに、任意の文字列をそのまま入力できます。URLやtel:のような形式の制約がないため、メモや案内文、定型文など自由な情報をQRコード化できます。



ユースケース

イベント会場の案内文、キャンペーンコード、注意書きなどの共有に。



こんな方に便利

決まったフォーマットに当てはまらない情報を手軽に共有したい方。



自由入力タブの入力画面

サイズ・余白を調整する

オプションパネル上部の「QR画像サイズ」「余白」で、生成するQRコード画像の寸法を調整できます。値は入力欄への直接入力のほか、範囲外の値やステップに合わない値を入れても、フォーカスを外す（またはEnter）と自動的に範囲内・ステップの倍数に補正されます。

QR画像サイズ 64px ～ 1024px（16px刻み、既定値 256px）

余白（マージン） 0px ～ 64px（4px刻み、既定値 10px）

反映タイミング 変更のたびにプレビューヘリアルタイム反映

こんな方に便利



名刺のような小さな印刷物から、ポスターのような大きな印刷物まで、用途に応じたサイズで保存したい方。



画面右上「QR画像サイズ」「余白」欄

点の形状をカスタマイズする

QRコードを構成する「点（モジュール）」の形状を、四角・丸み・ドット・クラシック・クラシックで更に丸み・特に丸く の6種類から選べます。色は単色、またはトグルで2色のグラデーション（線形／放射状、線形時は角度0～360°を指定）に切り替えられます。



ユースケース

ブランドカラーやロゴのイメージに合わせたQRコードのデザインに。



こんな方に便利

無機質な白黒QRコードではなく、デザイン性の高いQRコードを作りたい方。



「点の形状」タブ（グラデーション設定例）

色とグラデーションの設定方法

「点の形状」「四隅の四角」「四隅の点」「背景」の4タブは、いずれも共通のカラー設定UIを使います。仕組みを理解すれば、どのタブでも同じ操作で色を調整できます。

1

グラデーションのON/OFF

トグルスイッチを切り替えると、単色指定とグラデーション指定が切り替わります。

2

色を選ぶ

単色なら1つ、グラデーションなら2つのカラーピッカーで色を指定します。

3

線形／放射状を選ぶ（グラデーション時）

トグルで「線形」と「放射状」を切り替えます。

4

角度を指定する（線形時のみ）

スライダーで0°～360°の角度を指定できます。



背景タブでのグラデーション設定例（放射状）

四隅（コーナー）をカスタマイズする

QRコード3隅にある検出用の四角い目印は、外側の大きな枠「四隅の四角」（四角／ドット／特に丸く）と、内側の小さな点「四隅の点」（四角／ドット）を、点の形状とは独立してカスタマイズできます。色も単色・グラデーションを個別に指定可能です。



ユースケース

全体は控えめに、目印になる四隅だけ色や形を強調したいデザインに。



こんな方に便利

ロゴのアクセントカラーを四隅にだけ効かせたいなど、細部までこだわりたい方。



「四隅の四角」タブの設定画面

背景を設定する

背景タブでは、QRコードの背景色を単色（既定値 #FFFFFF）またはグラデーションで設定できます。設定方法は点や四隅と同じカラーシステムです。背景タブのみ形状の選択はなく、色の指定のみとなります。



ユースケース

印刷物の地色に合わせた背景や、パステルカラーの映えるQRコードに。



こんな方に便利

白背景以外のデザインに馴染ませたい方、背景も含めて世界観を統一したい方。



「背景」タブの設定画面（線形グラデーション）

ロゴ・画像を埋め込む

プレビュー下の「画像設定」ボタンから画像ファイルを選択すると、QRコード中央にロゴなどの画像を配置できます。画像はQRコードサイズの50%で表示され、周囲に自動で余白と背景が確保されるため、コードの読み取りやすさを保ちながらロゴを重ねられます。



ユースケース

企業ロゴやブランドロゴ、キャラクターアイコン入りのQRコードに。



こんな方に便利

一目で「誰の」「どのブランドの」QRコードかを分かるようにしたい方。



中央にロゴ画像を埋め込んだ例

リアルタイムプレビュー

データ入力欄や外観のオプションを変更するたびに、画面中央のプレビュー領域のQRコードが即座に再描画されます。保存する前に、何度でも自由に試行錯誤しながら仕上がりを確認できます。



即時反映

入力・設定の変更が保存操作なしにそのままプレビューへ反映されます。



何度でも試行錯誤

色や形状を切り替えながら、理想のデザインを気軽に探せます。



仕上がりを事前確認

保存前に完成イメージを確認でき、やり直しの手間を減らせます。

PNG形式で保存する

プレビュー下の「保存」ボタンを押すと、OS標準のファイル保存ダイアログが開きます。保存先を選ぶだけで、生成したQRコードがPNG画像として書き出されます。データが未入力の場合、保存ボタンは自動的に無効化されます。



印刷物への活用

名刺・チラシ・ポスターなどにそのまま印刷できます。



Webサイトへの掲載

生成した画像をそのままサイトや資料に貼り付けられます。



標準的なPNG形式

特別なソフトがなくても、あらゆる場面で扱える汎用フォーマットです。



PART 2

QRコードを読み取る

画像ファイル・Webカメラの2つの読み取り方法と、結果の活用方法を解説します。

読み取り機能でできること

サイドバーの「QR読み込み」に切り替えると、2つの方法でQRコードを読み取れます。結果は一覧表示され、そのまま活用できます。



画像ファイルから読み取る

複数選択・ドラッグ&ドロップに対応。長辺1024px上限で処理。



Webカメラで読み取る

640×480解像度、500ms間隔でリアルタイム検出。

画像ファイルから読み取る（複数選択）

「QR画像ファイルを読み込む」ボタンから、複数の画像ファイルを一度に選択して一括読み取りできます。各画像は長辺1024px上限・アスペクト比を保ったまま処理され、QRコードが見つからない場合もエラーにはならず「QRコードが見つかりませんでした」として結果に表示されます。

ユースケース



大量の名刺画像やチケット画像から、含まれるQRコードの内容を一括で確認・整理したい場合。



こんな方に便利

1枚ずつ手作業でQRコードを確認するのが大変な方。



読み取り中の表示（スピナー付き）

ドラッグ&ドロップで読み取る

画像ファイルを指定エリアへドラッグ&ドロップするだけで読み取りが始まります。ドラッグ中はエリアの枠線と背景色が変わり、視覚的に分かりやすく表示されます。複数ファイルの同時ドロップにも対応し、画像以外のファイルは自動的に無視されます。

ユースケース



エクスプローラーやFinderからそのまま画像をドラッグして、素早く内容を確認したい場合。



こんな方に便利

ファイル選択ダイアログを開く一手間すら省きたい方。



ドラッグ中のハイライト表示

Webカメラでリアルタイムに読み取る

「カメラを起動する」ボタンでPCのWebカメラを起動します（解像度640×480）。起動中は500ms間隔でQRコードの検出を試み、検出できるとカメラは自動的に停止し、結果と成功の通知が表示されます。

ユースケース



手元にある紙のQRコードや、スマートフォン画面に表示したQRコードをその場で読み取りたい場合。

こんな方に便利



画像ファイルとして保存する手間なく、その場でサッと内容を確認したい方。



QRコード検出時の表示

読み取り結果の見方

読み取り結果は画面サイズ固定のリスト内で、内部スクロールしながら表示されます。各結果には次の情報が並びます。

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| ① ファイル名 | 太字で表示。カメラ読み取りの場合は「カメラ」と表示されます。 |
| ② フルパス | 小さいグレー文字。D&D時はブラウザの制約でファイル名と同じ値になります。 |
| ③ 読み取った内容 | 見つからない場合は「QRコードが見つかりませんでした」と表示。 |
| ④ 操作ボタン | パス・内容のコピーボタンと、URLの場合のみ「ブラウザで開く」ボタン。 |



ブラウザで開く・コピーする

読み取った内容が http:// または https:// で始まる場合、「ブラウザで開く」ボタンが表示され、クリックでデフォルトブラウザが起動します。フルパスと内容にはそれぞれ専用のコピーボタンがあり、クリップボードへ即座にコピーできます。

ユースケース



QRコードから読み取ったURLをすぐに開いて内容を確認したい、他のアプリに貼り付けて活用したい場合。



こんな方に便利

読み取った内容を手入力し直す手間や、入力ミスをなくしたい方。



結果一覧とアクションボタン

CSV形式で出力する

「CSV出力」ボタンから、読み取り結果（ファイル名・フルパス・内容）をBOM付きUTF-8のCSVファイルとして保存できます。BOMを付与することで、Excelで直接開いても日本語が文字化けしません。結果が0件のときはボタンが無効化されます。

ユースケース



大量の読み取り結果をExcelやスプレッドシートで一覧管理・共有したい場合。

こんな方に便利



結果を手作業で転記する手間をなくしたい方、他部署へ結果を共有したい方。



CSV出力完了時のトースト通知

結果をクリアする

ツールバーの「クリア」ボタンを押すと、表示されている読み取り結果の一覧を空にできます。結果が1件もない状態ではボタンは無効化されており、誤って空の一覧をクリアすることはありません。



一覧をリセットして次の読み取りへ

別のバッチの画像をまとめて読み取りたいときに、前回の結果をリセットできます。



PART 3

共通機能・その他

通知の仕組み、操作の制限、セキュリティ、動作環境、よくある質問をまとめます。

トースト通知について

保存・コピー・CSV出力などの操作結果は、画面右下に一時的に表示される「トースト」でお知らせします。3秒後に自動で消え、最大3件まで積み上げて表示されます。

成功（緑）	保存完了、コピー完了など
エラー（赤）	保存失敗、ファイル書き込みエラーなど
警告（オレンジ）	カメラのアクセス拒否など
情報（青）	CSV出力完了など



4種類のトースト通知（右下に表示）

キーボード操作・画面操作について

デスクトップアプリとしての操作感を保つため、ブラウザ由来のショートカットや右クリックメニューの多くは無効化されています。

無効化される操作

Ctrl + R / F5	画面の意図しないリロードを防止
F12	DevTools起動を防止（リリース版）
F1 ～ F11	ブラウザ由来の操作を防止
右クリックメニュー	検証メニュー等の表示を防止

有効な操作

Alt + F4	OS標準のアプリ終了操作
マウス操作全般	クリック・ドラッグ&ドロップ・スクロール
テキスト入力欄内の選択	入力欄内のテキストのみ選択・コピー可能

セキュリティとプライバシー

QR Zeroは「データを外部に出さない」ことを重視して設計されています。入力したURLやWi-Fi情報、連絡先、読み取った内容は、いずれもアプリの外部（インターネット上のサーバーなど）へ送信されることはありません。



オフライン動作

インターネット接続なしで全機能が利用できます。



データを保存しない

永続的なデータ保存を行わず、起動のたびに入力からやり直す設計です。



デバッグ検出

リリースビルドではデバッグの接続を検出すると起動を停止し、解析を抑止します。



不要な操作の無効化

DevToolsやコンテキストメニューを無効化し、意図しない操作を防ぎます。

動作環境



Windows

Windows 10 / 11（最優先でサポート）。単体exeで配布。



macOS

macOS 10.15 以降。dmgで配布。



Linux

Ubuntu 18.04以降、Fedora、Arch Linuxなど。ApplImage / debで配布。

配布方法

GitHub Releases にて各OS向けビルドを公開

ウィンドウサイズ

880 × 480 固定（リサイズ不可、PC向け最適化UI）

必要なインストール

実行ファイルを配置するのみ。アカウント登録は不要

ネットワーク要件

なし（全機能がオフラインで動作）

よくある質問（FAQ）

SVGやPDF形式で保存できますか？

いいえ。現在はPNG形式の保存のみに対応しています。

作成した設定をテンプレートとして保存できますか？

いいえ。設定を保存する機能はなく、毎回入力する仕様です。

QRコード以外のバーコードも読み取れますか？

いいえ。QRコードの生成・読み取りのみに対応しています。

読み取り結果はクラウドに同期されますか？

いいえ。データはローカル完結で、クラウド連携は行いません。

スマートフォン版はありますか？

いいえ。Windows / macOS / Linux向けのデスクトップアプリです。

1枚の画像に複数のQRコードが写っている場合は？

現在は1画像につき1つのQRコードの検出に対応しています。



以上が QR Zero の全機能です

初めての方は「QR Zero の始め方」もあわせてご覧ください

QR Zero License v1.1 / Windows 10/11 • macOS 10.15+ • Linux 対応